

鵜戸

謹賀新年

奉祝 国指定名勝「鵜戸」



〒887-0101
宮崎県日南市宮浦3232番地
TEL0987-29-1001 FAX0987-29-1003

鵜戸神宮ホームページ
<http://www.udojingu.com/>

発行者兼編集者
鵜戸神宮社務所

謹んで新春のお慶びを
申し上げます



宮司 本部 雅裕

鵜戸を訪れた人々⑥

クロード・レヴィリストロース

平成三十年、年の初めを寿ぎ奉ります。

御皇室の愈々のお栄えをお祈り申し上げますとともに、氏子崇敬者の皆さまがご平穩にお過ごしになりますやう念じをります。

さて昨年十月十三日、文部科学大臣より当鵜戸神宮一帯を国の名勝「鵜戸」に指定する旨発表がありました。その指定理由のひとつには、「鵜戸」が「海幸、山幸」や「鷓鴣草葺不合尊生誕の地」など神話の舞台であること。また「鵜戸」が、古来神道、仏教、修験道など重層的な信仰を持ち続けてきたことなどがあげられてゐます。

この二点は、「鵜戸」悠久の神話と信仰とを未来

だと、私自身思ってしまったのです。その通りだ、と。

江藤 ご自身で神話の世界を体験なさったというわけですね。

レヴィリストロース ええ、体験したのですとも。……

ここで彼は、江藤の注の通り瓊瓊杵尊と鷓鴣草葺不合尊の神名を取り違へて発言してはゐますが、鵜戸神宮での感動をこのやうに熱く語り、そして神話の世界を体験したといふのです。

ともあれ、二十世紀を代表する知の巨人は鵜戸を訪れ、鷓鴣草葺不合尊生誕の洞窟を目のあたりにして、「神話で語られている出来事は本当にあったことだ」と大層感動したのでした。「その通りだ（イツ・ゼアー）」と。



名勝指定記念石碑建立
揮毫 寺原聖山先生

へとつなぐ意味においても、重要なことでございます。

連載してゐます今回の「鵜戸を訪れた人々」は、レヴィリストロースをご紹介致します。

知の巨人といはれたフランスの文化人類学者クロード・レヴィリストロースは、昭和六十一年四月、七十八歳の時、鵜戸神宮を訪れてゐます。それは、彼の五度の来日のうちの二回目のもので、彼が特に霧島、鵜戸、高千穂の九州南東部への旅を望んだからでありました。レヴィリストロースはすでに記紀神話を熟読してゐて、ぜひとも訪れたい場所がここであつたといひます。

鵜戸神宮でのこの時の印象を、のちに江藤淳との対話のなかで次のやうに述べてゐます。

レヴィリストロース 実は私、高千穂の玉依姫の聖域つまり瓊瓊杵尊さんが海の王の娘と結婚した洞穴（江藤淳注「洞窟は鵜戸神宮のことか？」）を訪ねましたときに、ある体験をしました。といいますのは、その場所が実に印象深く、また美しかったものだから、神話で語られている出来事は本当にあつたこと

そして彼は、「西洋の知識人が神話と歴史をきわめて厳格に区別する」のに対して、鵜戸神宮の御祭神鷓鴣草葺不合尊が、神話の神々の最後に登場され、そのお子様が人皇第一代神武天皇へ、神代から人の世の時代へと繋がっていく日本人の連続性、その歴史観を熱く語つたのであります。

この、彼の指摘する神話と歴史の連続性こそが、鵜戸神宮御鎮座の要諦であらふと私は考へます。神話のところが今の現に生きるところ、国の名勝「鵜戸さん」へ、皆さま今年もお揃ひでお詣り下さい。

(参考) 江藤淳著『言葉と沈黙』 文藝春秋刊

新聞抄 (宮崎日日新聞社提供 平成二十九年十一月十二日)

日南市の鵜戸神宮で神職から面白い話を聞いた。神宮に通じる市道鵜戸参宮線は大雨でのり面が崩壊し、2月から平日通行止めだった。その影響で参拝者は平年より1割ほど減つたのに、お守りを授かる人が増えたのだ。一人一人への声掛けを普段以上に心掛けるなど、参拝者減を逆手に取つてなす充実に努めたのが要因という。その努力を

■ 岬太郎

あさ笑つように、国道220号が台風で10月29日から全面通行止めになった。苦難の連続に暗たんとした気持ちになつたが、市道は1日、国道は11日に通行を再開した。参拝者や観光客の足が早く地域に戻ると良い。この神職は「落ち込むよりも今だからこそ何ができるか考えたい」という。その通りだ。みんなで共有したい。(矢野太輝)



舞楽 蘭陵王
鵜戸さん獅子舞



参 進
宮司祝詞奏上



十一月三日、明治祭・秋の縁日大祭・誕生感謝奉告祭に合せて名勝指定記念奉告祭を約六十名参列のもと盛大裡に斎行しました。祭典に引続き、奉祝行事として舞楽「蘭陵王」・「豊栄の舞」・「鵜戸さん獅子舞」が奏舞されました。
縁日大祭は、昭和二十九年を最後に途絶へてみましたが、伝統行事復活の機運が高まり平成十一年から斎行してみます。

明治祭・秋の縁日大祭 名勝指定記念奉告祭

平成二十九年六月十九日に開催された国の文化財審議会において、「鵜戸」を国の名勝とするやう文部科学大臣に対して答申されました。
名勝とは、文化財保護法において、庭園、橋梁、渓谷、海浜、山岳その他の名勝地で、我が国にとつて芸術上または観賞上価値の高いものと定義されてゐます。
十月十三日、「鵜戸」は国の名勝として文部科学大臣より指定を受けました。これで宮崎県内における国指定の名勝の数は五例目（名勝および天然記念物一例を含む）となり、戦後では初めての指定となりました。
名勝指定を受けて、十一月三日に名勝指定記念奉告祭を斎行。翌四日には記念式典を儀式殿にて開催しました。
式典では、まず始めに文化庁青木調査官より鵜戸が名勝の指定を受けた経緯の説明講話がありました。来賓挨拶では地元選出の古川代議士より祝辞を頂き、またシャンシャン馬道中唄、地元出身で昭和の遺産を歌い継ぐ活動をしてゐる大学生長谷川万大さんが「思い出のフェニックスハネムーン」を披露しました。
記念事業として、楼門前に名勝指定の石碑の建立、参拝者に記念品頒布、平成二十四年に古事記編纂一三〇〇年を記念して開催して以来二回目の御神宝展の開催（四日間）、市内にて写真パネル展の開催（二箇所）など、各関係機関と連携し行ひました。

名勝指定記念事業



御神宝展
写真パネル展



石碑建立
記念品頒布



シャンシャン馬道中唄
長谷川万大氏



青木調査官講話
古川代議士祝辞



法 要
玉串拝礼



祭典前
修 祓



五月二十日、日本参道の八丁坂を登りつめた頂上の別当墓地にて別当宮司先賢慰霊祭が斎行されました。
祭典では、歴代別当・宮司の墓前に遺族が並び、御霊なごめの祝詞の次に住職の読経が続きました。二千有余年の間この鵜戸山を守り、その発展に寄与された師徳を慕ひ、功績を称へました。

別当宮司先賢慰霊祭



神 事
直 会



茅の輪
大祓式



六月三十日、日常生活において知らず知らずのうちにふりかかった大小の災難や穢れ（気枯れ）を祓ひ去り、身も心も清めて明るい生活を送らうと代々行はれてきた大祓式が斎行されました。
氏子を始め県内外から約五十名が参列。「茅の輪くぐり」の神事後、人形代を太平洋の海原へと祓ひ去りました。

六月大祓式



稲刈り



鵜戸神宮御神田
抜穂の儀



八月二日、頭を垂れ黄金色に輝いてゐる鵜戸神宮御神田にて抜穂祭が斎行されました。抜穂の儀では、齋主が抜き取った稲穂と、刈女（JAはまゆう職員）によつて刈り取られた稲穂が御神前に供へられました。
祭典終了後には、鵜戸小中学校児童も参加し照りつける日差しの中、稲刈りが行はれました。

抜穂祭

新嘗祭

十一月二十三日、今年収穫された穀物を大神様に捧げ、その御恵に感謝する新嘗祭が責任役員はじめ約一四〇名参列のもと斎行されました。
厳かな空気の中、地元鵜戸小中学校児童六名が、子供神楽を奏舞し華やかな祭典となりました。



祭典直



授与所改築

この度、授与所の老朽化に伴ひ六月から八月にかけて授与所の改築工事を行いました。多くのお参りの方にゆつくり見て頂けるやうに以前より広くなつてをります。ご参拜の際にはぜひお立寄り下さい。



第一授与所 (本殿前)
第二授与所 (洞窟内奥)



天台宗青年会法要

十月三日、天台宗仏教青年会の全国大会が宮崎県で開催されました。

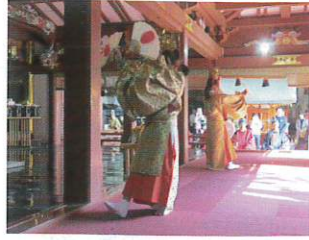
それに合はせて当神宮御本殿にて「平成二十八年熊本・大分地震」、「平成二十九年七月九州北部豪雨」の物故者慰霊・被災地復興祈願法要が営まれ、洞内に約一三〇名の僧侶が集まりました。



法要
宮司講話



子供神楽



子供神楽奉納
祭典後



敬神婦人会

十月二日、参加者二十一名でえびの市・小山市方面へ研修旅行を行いました。霧島六社権現の一社に数へられる白鳥神社を正式参拝しました。毎回楽しみに参加される会員も多く、有意義な研修となりました。



白鳥神社にて

災害状況



現在の様子

平成二十八年七月の大
雨の影響で、市道鵜戸参
宮線が大規模な土砂災害
に遭ひ通行止めになって
いました。
十一月一日より完全復
旧に至り、従来どおり通
行可能になりました。

社務日誌抄

- 1月1日 歳旦祭
- 1月2日 初日供祭
- 1月3日 元始祭
- 1月7日 昭和天皇御陵遙拝式
- 1月9日 成人祭
- 1月10日 恵比須神社例祭
- 1月16日 古神符焼納祭
- 1月12日 海岸参道土砂崩れ復旧工事起工式
- 1月25日 皇學館大學山口常務理事参拝
- 1月28日 波切神社例祭
- 1月31日 例祭前夜祭
- 2月1日 例祭・第45回四半的弓道大会
- 2月2日 吾平山上御陵祭
- 2月3日 節分祭
- 2月5日 第64回剣法発祥鶴戸山顕彰剣道大会
- 2月7日 広島東洋カープ必勝祈願祭
- 2月10日 播種祭
- 2月11日 紀元祭
- 2月12日 鶴戸稲荷神社例祭
- 2月13日 長崎県今山神社松浦宮司他二十二名参拝
- 2月17日 祈年祭
- 2月20日 佛所護念会教団関口会長他三名参拝
- 2月25日 鹿児島県紫尾神社氏子総代三十一名参拝
- 2月27日 天皇皇后両陛下越南社会主義共和国御渡
航行幸啓安泰祈願祭
- 3月7日 天皇皇后両陛下越南社会主義共和国還幸
啓奉告祭
- 3月12日 卅一周年ライブ開催
- 3月15日 御神田清祓祭
- 3月20日 春季皇霊祭遙拝式・春分祭
- 3月21日 御田植祭
- 3月25日 春の縁日大祭・誕生感謝奉告祭
- 3月27日 第31回シャンシャン馬道中唄全国大会
第31回シャンシャン馬道中再現
- 4月3日 神武天皇御陵遙拝式
- 4月13日 宮崎海上保安部小野部長他二名参拝
- 4月15日 広島県多家神社飯田宮司参拝
- 4月22日 静岡商工会議所二十二名、久能山東照宮
落合宮司参拝
- 4月29日 昭和祭
- 4月30日 自動車被所鎮座記念祭
- 5月3日 圖師久剛氏燈籠奉納奉告祭
- 5月4日 天皇皇后両陛下御参拝記念祭
- 5月5日 神御衣祭・節句祭いさみ太鼓奉納
- 5月6日 刀匠松葉國正氏他四名参拝
- 5月20日 別当宮司先賢慰霊祭
- 6月4日 加覧節子氏燈籠奉納奉告祭
- 6月6日 愛媛県神社庁宇和支部長他十一名参拝
- 6月7日 阿含宗津田靖孝氏他三名参拝
- 6月12日 阿含宗本山釈迦山大菩提寺和田理事長他
六名北方洋上法要大成功祈願参拝
- 6月13日 天台宗仏教青年会十七名参拝
- 6月28日 麗澤大学八木教授参拝
- 6月30日 住吉神社例祭・九柱神社例祭・大祓式
- 7月5日 日南地区産業安全祈願祭
- 7月31日 東トルキスタン亡命政府アフメット
ジャン・オスマン大統領参拝
- 8月2日 抜穂祭
- 8月20日 鹿児島県神社庁種子田庁長他七名参拝
- 8月23日 熊本県神社庁玉名支部二十八名参拝
- 8月25日 瓢箪山稲荷神社講社十三名参拝
- 8月28日 福井県神社庁南越支部八名参拝
- 9月5日 仏蘭西剣道連盟エリック・マラシ会長
他二名参拝
- 9月11日 皇學館大學文学部神道学科松本教授参拝
- 9月20日 宮崎県神社庁南那珂支部教養研修会開催
- 9月23日 秋季皇霊祭遙拝式・秋分祭
- 10月3日 天台宗仏教青年会法要
- 10月13日 国指定名勝「鵜戸」指定
- 10月17日 神嘗祭遙拝式・神嘗奉祝祭
- 10月21日 神話のふるさと県民大学リレー講座開催
- 10月27日 福智神社例祭
- 10月28日 皇子神社例祭
- 11月1日 海岸参道全面開放
- 11月3日 明治祭、秋の縁日大祭、誕生感謝奉告祭
- 11月4日 名勝指定奉告祭
- 11月4日 名勝指定記念式典開催
- 11月6日 宮内庁桃山陵墓管区事務所長他参拝
- 11月7日 神御衣祭
- 11月9日 広島東洋カープセ・リーグ優勝奉告祭
- 11月15日 七五三祭
- 11月19日 海上自衛隊掃海隊航海訓練安全祈願参拝
- 11月23日 新嘗祭
- 12月3日 天長祭
- 12月27日 煤払祭・亀石注連縄張替へ絵馬掛け替へ
- 12月31日 大祓式・除夜祭

命名

宮崎県 伊豆 来美 様
 (平成二十九年三月二十八日生)

宮崎県 榎木田こころ様
 (平成二十九年五月三十一日生)

東京都 長井 勇篤 様
 (平成二十九年七月三十一日生)

宮崎県 中野 美咲 様
 (平成二十九年九月二十六日生)

ご結婚おめでとう
 ございます

広島県 深田 翔 様
 依里 様

(平成二十九年二月二十五日)

東京都 鈴木 健司 様
 萌 様

(二月二十六日)

宮崎県 川越 貴之 様
 理紗 様

(四月九日)

東京都 光武 敬志 様
 ゆり奈様

(七月二十九日)

伊勢の大麻(御神札)をお受けしませう

○新年には地元の氏神様、もしくは当神宮で新しい神宮大麻をいただき各家庭におまつりください。

宮宮宮衛衛衛巫巫巫巫巫巫斎斎斎出権権権権権禰禰禰宮
 務務務士士士士女女女女女女女女女仕宜宜宜宜宜宜宜司
 員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員
 清南山湯川後長岩本大築谷宮川福徳間安佐磯中渚伊河
 部下浅瀬藤友下部嶺島口山山地瀬藤師野原田東野武部
 美 ふ 香 枝 田 祐 慎
 代初み好 秀英奈明麻里綾里真詩亜哲一慶英太賢健博信雅
 子代子一真樹樹恵歩鈴沙香架美織紀生郎保志郎二治文明裕

賀正

編集後記

○社報八十五号をお届けします。
 ○表紙の写真は、無人飛行機ドローンで株式会社ビックチャープラスが撮影した写真です。国指定名勝を記念してご奉納いただきました。

○昨年に引き続き広島東洋カープが、セントラルリーグ連覇を達成しました。しかし、クライマックスシリーズでは惜しくも敗退し悲願達成はなりません。ぜひとも本年こそは三十四年ぶりの日本一の栄冠を勝ち取って欲しいと願っています。

○今回は、本年の干支戌の背中に卵が描かれた張子の縁起物と木彫りの卵の縁起物のご紹介を致します。

○参拝の際にお声掛け頂ければ、洞内をご案内致しますので、お気軽にお申し出下さい。

○新しい年が良き年でありますやう、皆様のご多幸を鵜戸の宮居よりご祈念申し上げます。

(佐師)



干支張子



一刀彫卵